



平成 19年 3月期

第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 19年 2月 13日

上 場 会 社 名

電気化学工業株式会社

(コード番号 : 4061 東証第1部)

(URL http://www.denka.co.jp)

問合せ先 代表者役職・氏名

代表取締役社長

川 端 世 輝

責任者役職・氏名

常務取締役

南 井 宏 二

TEL (03) 5290 - 5512

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
減価償却費や法人税等の計上など、一部簡便な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 12月 31日)

## (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第3四半期	245,094	6.4	21,390	5.9	19,021	1.3	11,717	△ 3.0
18年 3月期第3四半期	230,422	10.6	20,201	3.1	18,769	10.6	12,076	17.3
(参考) 18年3月期	307,923		26,069		23,913		15,365	

	1 株 当 たり 四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1株当 り 四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
19年 3月期第3四半期	23.85	—
18年 3月期第3四半期	24.57	—
(参考) 18年3月期	31.08	—

(注) ①期中平均株式数 (連結) 19年 3月期第3四半期 491,331,909株 18年 3月期第3四半期 491,500,506株  
18年 3月期 491,484,056株

②売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年第3四半期増減率であります。

## (2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期第3四半期	369,018	159,355	41.7	324.38
(参考) 18年3月期	349,689	146,148	41.8	297.23

(注) ①期末発行済株式数 (連結) 19年 3月期第3四半期 491,266,216株 18年 3月期 491,397,601株

②18年 3月期の純資産は、少数株主持分を含めておりません。

## (3) 事業の種類別売上高

	19年3月期 第3四半期	18年3月期 第3四半期	(参考) 18年3月期
	百万円	百万円	百万円
有機系素材事業	110,771	100,806	135,527
無機系素材事業	37,843	37,336	49,557
電子材料事業	27,731	24,339	33,224
機能・加工製品事業	44,873	43,521	56,023
その他事業	23,874	24,417	33,590
全社計	245,094	230,422	307,923

## [経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期までのわが国経済は、企業収益改善に伴い設備投資が増加するなど、景気は回復基調で推移しましたが、原油価格高騰の長期化や金利の上昇懸念等もあり、景気の先行きに対する不透明感が拭えない状況となっております。

化学工業界におきましては、国内外における需要は総じて順調に増加しましたが、原材料価格の動向が大きな懸念材料となっております。

このような経済環境のもとで、当社は業容の拡大と収益の確保に全社をあげて注力いたしました結果、当第3四半期の連結売上高は、2,450億94百万円と前年同期に比べ146億72百万円 (6.4%) の増収となりました。

収益面におきましては、原材料価格高騰の影響を製品価格の是正と販売数量の増加で補いました結果、営業利益は213億90百万円（前年同期比11億89百万円、5.9%増益）を計上し、売上高営業利益率は8.7%（0.1ポイント低下）となりました。営業外損益では、持分法適用会社の収支悪化に伴い投資利益が減少したことにより、経常利益は190億21百万円（前年同期比2億52百万円、1.3%増益）、四半期純利益は117億17百万円（前年同期比3億59百万円、3.0%減益）となりました。

有機系素材事業では、ステレンモノマーは、定期修繕実施に伴う生産数量減少により輸出販売数量が大幅に減少しましたが、原材料価格上昇に伴う国内外の製品価格の是正により増収となりました。子会社デンカシンガポールP.L.のポリスチレン樹脂は堅調に推移いたしました。機能性樹脂は、透明ポリマーが販売数量を伸ばし増収となりました。クロロプレングムは、自動車関連用途や接着剤用途を中心に国内外ともに販売数量が増加するとともに製品価格が上昇し増収となりました。

無機系素材事業では、肥料は、長雨等、天候不順の影響により需要が冷え込み減収となりました。耐火物他では、結晶質アルミナ短繊維“デンカアルセン”が電子部品焼成炉用途や自動車用途向けに販売数量を伸ばしました。また、セメントは前年同期並みの売上となりましたが、特殊混和材は、グラウト用無収縮材“プレタスコン”が耐震補強工事向けに順調に販売数量を伸ばすなど総じて順調に推移しました。

電子材料事業では、電子部品、半導体のエンボスキャリアテープ用のカバーテープや“デンカサーモフィルム”等の電子包材が順調に販売数量を伸ばすとともに、電子回路基板等の電子部材も増収となりました。また半導体封止材向け球状溶融シリカファイラーは環境対応品を中心に国内外で需要が拡大し、大牟田工場およびシンガポールの子会社デンカアドバンテック社ともに販売数量を伸ばし増収となりました。

機能・加工製品事業では、包装資材はOPS（二軸延伸ポリスチレンシート）原反とデンカポリマー株式会社のOPS加工品は増収となりました。医薬他では、関節機能改善剤（高分子ヒアルロン酸製剤）“スベニール”は順調に販売数量を伸ばしました。また、デンカ生研株式会社は主力製品のインフルエンザワクチンの出荷が前年同期に比べ順調に推移したことにより増収となりました。また、建築資材は、プラスチック雨どい等の販売数量が減少し減収となりました。

その他の事業では商社の販売は堅調でしたが、デンカエンジニアリング株式会社の大型工事物件が減り受注高が前年同期を下回りました。

### 3. 平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

#### (1) 連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	328,000	25,000	16,000
今回修正予想 (B)	329,000	25,500	16,500
増減額 (B-A)	1,000	500	500
増減率 (%)	0.3	2.0	3.1
(参考) 前期実績 (平成18年3月期)	307,923	23,913	15,365

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 33円59銭

#### (2) 個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	242,000	21,000	13,000
今回修正予想 (B)	244,000	22,500	14,000
増減額 (B-A)	2,000	1,500	1,000
増減率 (%)	0.8	7.1	7.7
(参考) 前期実績 (平成18年3月期)	229,354	18,314	11,850

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 28円50銭

#### [業績予想に関する定性的情報等]

原材料価格の上昇の影響を製品価格の是正や販売数量の増加で補っており、第3四半期までの業績を踏まえて、平成18年11月13日の通期の業績予想を修正することといたしました。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

## 要約連結貸借対照表

科 目	当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		前 期 (平成18年3月31日現在)		増 減
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>【資産の部】</b>	百万円	%	百万円	%	百万円
流動資産					
現金及び預金	5,126		5,755		△ 628
受取手形及び売掛金	75,841		66,280		9,561
たな卸資産	43,529		40,681		2,847
その他	8,104		7,965		139
流動資産計	132,603	35.9	120,683	34.5	11,919
固定資産					
有形固定資産	184,194		176,682		7,512
無形固定資産	2,836		3,170		△ 334
投資その他の資産	49,384		49,153		231
固定資産計	236,415	64.1	229,005	65.5	7,409
資産合計	369,018	100.0	349,689	100.0	19,329
<b>【負債の部】</b>					
流動負債					
支払手形及び買掛金	59,206		45,344		13,862
短期借入金	50,578		43,976		6,601
商業ペーパー	10,000		4,000		6,000
一年以内償還予定の社債	10,000		-		10,000
その他	27,752		44,602		△ 16,850
流動負債計	157,536	42.7	137,923	39.4	19,613
固定負債					
社債	20,000		30,000		△ 10,000
長期借入金	14,665		13,029		1,635
退職給付引当金	6,753		5,244		1,508
その他	10,708		11,871		△ 1,163
固定負債計	52,126	14.1	60,145	17.2	△ 8,019
負債合計	209,663	56.8	198,069	56.6	11,594
<b>【少数株主持分】</b>					
少数株主持分	-	-	5,472	1.6	-
<b>【資本の部】</b>					
資本金	-		36,998		-
資本剰余金	-		41,551		-
利益剰余金	-		48,666		-
土地再評価差額金	-		8,596		-
その他有価証券評価差額金	-		11,064		-
為替換算調整勘定	-		△ 412		-
自己株式	-		△ 317		-
資本合計	-	-	146,148	41.8	-
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	349,689	100.0	-
<b>【純資産の部】</b>					
株主資本					
資本金	36,998		-		-
資本剰余金	41,552		-		-
利益剰余金	56,850		-		-
自己株式	△ 380		-		-
株主資本計	135,020	36.6	-	-	-
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	10,117		-		-
土地再評価差額金	8,596		-		-
為替換算調整勘定	79		-		-
評価・換算差額等計	18,793	5.1	-	-	-
少数株主持分	5,540	1.5	-	-	-
純資産合計	159,355	43.2	-	-	-
負債純資産合計	369,018	100.0	-	-	-

## 要 約 連 結 損 益 計 算 書

科 目	当第3四半期 自 平成18. 4. 1 至 平成18. 12. 31		前 期 自 平成17. 4. 1 至 平成18. 3. 31	
	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%
売 上 高	245,094	100.0	307,923	100.0
売 上 原 価	186,058	75.9	232,745	75.6
売 上 総 利 益	59,036	24.1	75,177	24.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	37,645	15.4	49,107	15.9
営 業 利 益	21,390	8.7	26,069	8.5
営 業 外 収 益				
受 取 利 息 及 び 配 当 金	625		709	
持 分 法 投 資 利 益	441		1,268	
そ の 他	707		907	
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	899		1,076	
そ の 他	3,244		3,965	
経 常 利 益	19,021	7.8	23,913	7.8
特 別 利 益	-		4,101	
特 別 損 失	-		4,998	
税金等調整前四半期（当期）純利益	19,021	7.8	23,016	7.5
法 人 税 等	7,056		7,458	
少 数 株 主 利 益	246		192	
四 半 期 （ 当 期 ） 純 利 益	11,717	4.8	15,365	5.0